

予 算 要 求 資 料

令和 8 年度当初予算 支出科目 款：農林水産業費 項：農業費 目：農村教育推進費

事業名 農村青少年クラブ事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

農政部 農業経営課 普及企画係 電話番号：058-272-1111 (内4084)

E-mail： c11419@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 180 千円 (前年度予算額： 180 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	180	0	0	0	0	0	0	0	180
要求額	180	0	0	0	0	0	0	0	180
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)
農業者の高齢化が進展する中、若手農業者がネットワーク活動を通じて資質向上を図るなど、若手農業者の活動を活性化する必要がある。

(2) 事業内容
若手農業者の情報交換、研修会やネットワークづくりを支援している農村青少年クラブである岐阜県 4 Hクラブ連絡協議会への活動に対する助成。

(3) 県負担・補助率の考え方

補助率 1/2以内

(4) 類似事業の有無

有 担い手リーダー支援事業費補助金

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	180	岐阜県4Hクラブ連絡協議会活動費補助金
合計	180	

決定額の考え方

4 参 考 事 項

(1) 各種計画での位置づけ

- ・「清流の国ぎふ」創生総合戦略
Ⅱ 3 (3) ①農林畜産業を支える人材の育成・確保
- ・「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」

(2) 国・他県の状況

ほぼ全ての都道府県において4Hクラブ等の農村青少年団体に対する支援が行われている。

(3) 後年度の財政負担

次年度以降も継続した支援が必要

(4) 事業主体及びその妥当性

事業実施主体：岐阜県4Hクラブ連絡協議会

概ね30歳以下の県下の若手農業者が集まり、資質向上等の組織活動を実施しており、対象として妥当。

県単独補助金事業評価調書

☐ 新規要求事業

☒ 継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	農村青少年クラブ事業費補助金
補助事業者（団体）	岐阜県4Hクラブ連絡協議会 （理由）若い農業者の営農定着と経営の安定には、ネットワークづくりが重要となるため、県がその活動を積極的に支援する必要がある。
補助事業の概要	（目的）岐阜県4Hクラブ連絡協議会の活動支援 （内容）岐阜県4Hクラブ連絡協議会が開催する事業等の活動運営費に対して助成を行う。
補助率・補助単価等	定額・定率・その他（例：人件費相当額） （内容）事業費の1/2以内 （理由）将来にわたって農業者のリーダーを確保できるよう、県が費用を負担し、4Hクラブ連絡協議会の活動を積極的に助成する必要がある。
補助効果	意見交換会や地域活動を行ったことにより、会員自身の経営見直しにつながり、加えて若い農業者のネットワーク形成をすることができた。
終期の設定	終期 R12年度 （理由）「ぎふ農業活性化基本計画（仮称・令和8年3月策定予定）」の事業期間である令和12年を終期とする。

(事業目標)

・終期までに何をどのような状態にしたいのか 若手農業後継者を確保・育成し、研修会の開催により若手農業者同士の交流や自己研鑽を促進する。
--

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R)	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R12)	達成率
①4Hクラブ員数	70	67	70	70	70	96%
②地域活動数	20	30	20	20	20	150%

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度
	21	88	79

(これまでの取組内容と成果)

令和4年度	各地区活動の開催が再開し、活動を通して農業者間のネットワークづくりが図られた。
	指標① 目標：70 実績：83 達成率： 119 %
令和5年度	各地区において活動が行われ、活動を通して農業者間のネットワークづくりが図られた。
	指標① 目標：70 実績： 64 達成率： 91 %
令和6年度	各地区において活動が行われ、活動を通して農業者間のネットワークづくりが図られた。
	指標① 目標：70 実績： 67 達成率： 96 %

(事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	
(評価) 3	農業の担い手の育成確保は農政の重要施策であるため、農業の次代を担う若手青年農業者組織を支援する必要がある。
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50～100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満)	
(評価) 2	地区で独自にネットワーク活動を行うなど、若手農業者の交流が促進されている。
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	
(評価) 1	岐阜県4Hクラブ連絡協議会は若手農業者の県組織であり、この組織を支援することは、県全体の若手農業者の育成につながる。

(今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項

(次年度の方針)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか ・農村青少年の育成・確保に向けて、今後も継続して支援を行う。 ・会員数の減少に対応するため、ネットワーク活動を強化する必要がある
--